熊本学園大学付属海外事情研究所　2012年度第2回研究会

タイにおける環境NGOの取組み
―マプタプット工業団地問題を中心に―

講師：Walaiporn Mooksuwan（ワライポン　ムークスワン）　氏

（タイNGO団体　EARTH　研究員）

日　時：2013年　1月8日（火）

１６：２０～１７：５０　＊逐次通訳あり

場　所：熊本学園大学１４号館５階　第５会議室

参加費無料

水俣学研究センターのメンバーが中心になって、タイ東部での最大規模のマプタプット工業団地の公害、環境問題を調査し、水俣病の経験と教訓を伝え、工業団地と周辺住民との間で、リスクコミュニケーションの実践の可能性を調査、研究してきました。

マプタプット工業団地は1980年代末から、日本のＯＤＡで建設され、日本からも多くの企業が進出しています。90年代には大気や水質の汚染による公害が表面化し、2009年にはタイ行政裁判所が憲法67条を理由に、76の工場の新増設計画を中止する判決を出し、国内政治課題の一つとなり、タイ日本の産業界にも大きな影響を与えました。

今回、日本財団API研修員として、水俣市滞在中のムークスワン氏から、タイの環境問題の現状とＮＧＯの取組みについて報告していただきます。

《講師プロフィール》

略歴：1970年生まれ。1995年チュラロンコン大学理学部卒、1999年アジア工科大学エネルギー科学修士。チュラロンコン大環境危険物質管理研究センター研究員を経て、「Ecological Alert and Recovery-Thailand（EARTH）タイ環境の警鐘と回復」の研究員。EARTH（理事長チュラロンコン大学のスリチャイ教授）は、水俣学研究センターと国際研究交流協定を結んでいる。本年７月より日本財団のアジア・フェローシップにより、水俣市滞在中。水俣学研究センター客員研究員。

★☆

当日の直接参加も受け付けておりますが、資料の配布ができなくなる場合もございますので、
参加ご希望の方は、事前に下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

熊本学園大学　学術文化課
〒862-8680　熊本市中央区大江2-5-1

TEL 096-364-5161（代表）内線1773・096-364-8728（直通）
FAX 096-364-5201（直通）・Email kaigai@kumagaku.ac.jp